

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32101	情報と社会 Information Society	菅瀬 君子	専門	2	選択	1・2年 前期
<b>科目の概要</b>						
<p>情報社会と言われる現在、私たちの生活は情報ネットワークにより、多くの恩恵を受けています。しかし、反面多くの問題も抱えています。情報技術の発達やIT化によってさまざまな分野や社会に影響を及ぼしているのが現状です。情報化の現状や実社会で起きている問題を知り、それらの問題や影響について考えていきます。そして、情報社会で生きていくために必要な知識とマナーを学んでいきます。</p>						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
<p>① IT 化が及ぼす社会や文化への影響について、実社会で起きているニュースを取り上げ、どのような影響を及ぼしているか学ぶ</p> <p>② 情報セキュリティについて、技術的な面と個人でできる防犯対策を学ぶ</p> <p>③ 実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪について、データを基に情報倫理問題について学ぶ</p>			<p>① IT 化が及ぼす社会や文化への影響について考察できる。</p> <p>② 情報セキュリティについて学ぶことにより、技術的な防犯対策を知ることができる。</p> <p>③ 実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪の事例を基に情報倫理問題を理解することができ、自分の身を守ることができる。</p>			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	IT 化が及ぼす社会や文化への影響について関心を持ち、新聞、インターネット等を活用し自主的に調べ考察する。				
	働きかけ力					
	実行力	インターネット等の情報収集のみならず、フィールドワークにおいても積極的に情報収集を試み、自分の身近な生活についてのIT化の影響について調べ考察する。				
考え抜く力	課題発見力	情報化社会の課題や問題点について、客観的な視点で、実社会で起きている事柄について見極める。				
	計画力					
	創造力	授業で修得したこと、テレビ、新聞、インターネットなど様々な情報ツールを活用し、自分の生活がより豊かになるためにどうすればよいか、自分なりに工夫する。				
チームで働く力	発信力	実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪など、データを基に情報倫理問題について、自分の考えをわかりやすく伝える。または、文章で表現できる。				
	傾聴力	実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪など、データを基に情報倫理問題について、他者の考えをしっかりと理解する。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	毎週、新しいことを学ぶため、無断欠席、遅刻、居眠り、私語などしない。不明な点は積極的に質問をし、解決できるようにする。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
<p>テキスト:2017 事例でわかる情報モラル(実教出版) 必要に応じて資料を配布する。</p> <p>参考資料:愛知学泉大学・愛知学泉短期大学 楽しいキャンパスライフのために他人への思いやりを「新入生へのメッセージ」冊子</p>						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
<p>他科目との関連:「情報デザイン」</p> <p>資格との関連:情報処理士・ウェブデザイン実務士・ビジネス実務士・メディカル秘書士</p>						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
<p>情報に関わる事柄について、新聞、テレビ、インターネット上でのニュースなどで、常に新しい情報をチェックし、実社会でどのようなことが起きているか主体的に調べてみる。</p>			<p>・授業の内容を理解し、積極的に取り組む姿勢がみられること。授業中は、私語、スマートフォンの使用は慎むこと。新聞、テレビ、インターネット上でのニュースなど常に関心を持つ。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	60	①	✓	・7回目～15 回目までの授業で学んだことを範囲とし、補足資料を持ちこみとするので、資料中の説明の空白個所を整理しておく。 ・事例をもとに具体的に自分の考えを含め説明しなさいという問いに対し、自分の考えが具体的に、明確に述べられている。
		②	✓	
		③	✓	
小テスト	30	①		・2 回～6 回目の授業で学んだことの小テストを、7 週目で実施する。テスト形式は、記述式。 授業内容を理解できているかを確認する。
		②	✓	
		③	✓	
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<b>【主体的】:</b> IT 化が及ぼす社会や文化への影響について関心を持ち、新聞、インターネット等を活用し自主的に調べ考察する。 <b>【実行力】:</b> インターネット等の情報収集のみならず、フィールドワークにおいても積極的に情報収集を試み、自分の身近な生活についてのIT化の影響について調べ考察する。 <b>【課題発見力】:</b> 情報化社会の課題や問題点について、客観的な視点で、実社会で起きている事柄について見極める。 <b>【創造力】:</b> 授業で修得したこと、テレビ、新聞、インターネットなど様々な情報ツールを活用し、自分の生活がより豊かになるためにどうすればよいか、自分なりに工夫する。 <b>【発信力】:</b> 実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪など、データを基に情報倫理問題について、自分の考えをわかりやすく伝える。または、文章で表現できる。 <b>【傾聴力】:</b> 実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪など、データを基に情報倫理問題について、他者の考えをしっかり理解する。 <b>【規律性】:</b> 無断欠席、遅刻、居眠り、私語などしない。不明な点は積極的に質問をし、解決できるようにする。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
IT 化が及ぼす社会や文化への影響、情報セキュリティの技術的な防犯対策、実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪の事例を基に情報倫理問題を理解できる。新聞、テレビ、インターネットなど情報ツールを活用し、自分の生活に役立たせる身を守ることができる。テストにおいて、事例をもとに具体的に自分の考えを含め説明しなさいという問いに対し、自分の考えを具体的に、明確に述べられている。	実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪の事例を基に情報倫理問題を理解できる。テストにおいて、事例をもとに具体的に自分の考えを含め説明しなさいという問いに対し、自分の考えが述べられている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	○コンピュータの仕組みについて コンピュータ、ソフトウェアのしくみについて復習し、情報と人間とのかわりについて理解する	講義	コンピュータの仕組み、情報と人間との関係性が理解できる	(復習)情報と人間との関係性を確認する	30	主体性
2週 /	○ビックデータ ビックデータの意味、活用の事例をもとに生活への影響を解説	講義と質疑応答 PPにより説明	ビックデータが及ぼす影響が理解できる	(復習)ビックデータが及ぼす影響を確認する	60	主体性
3週 /	○情報化の現状(1) 個人・家庭・社会生活における情報化について、事例を基に解説	講義と質疑応答 PPにより説明	社会生活における情報化が理解できる	(復習)社会生活における情報化を確認する	60	主体性
4週 /	○情報化の現状(2) 経済・産業・企業活動における情報化について、事例を基に解説	講義と質疑応答 PPにより説明	特に、産業・企業における情報化が理解できる	(復習)産業・企業における情報化を確認する	60	主体性
5週 /	○情報とネットワークとしくみ 情報通信ネットワークが現代社会とどうかかわっているか、事例を基に解説	講義と質疑応答 PPにより説明	学内 LAN やインターネットのしくみが理解できる	(復習)インターネットのしくみを確認する	60	主体性
6週 /	○インターネットの光と影 ネット利用の仕方と「光」と「影」について事例を基に解説	講義と質疑応答 PPにより説明	ネット利用の利便性と悪影響について理解できる	(復習)インターネットの光と影の部分を確認する	60	課題発見力
7週 /	○前半まとめ小テスト 前半の授業(2回～6回)のまとめとして小テストを実施	小テスト	2回～6回の授業内容が理解できる	(復習)2回～6回の授業を復習しテストに備える	60	主体性 実行力 課題発見力
8週 /	○生活を支える情報システム(1) 情報システムの分類について解説	講義と質疑応答 PPにより説明	情報システムの分類が理解できる	(復習)情報システムの分類を理解する	60	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	○生活を支える情報システム(2) 情報システムの課題と将来について解説	講義と質疑応答 PPにより説明	情報システムの課題が理解できる	(復習)情報システムの課題を確認する	60	主体性
10週 /	○情報セキュリティ(1) 技術的なセキュリティ対策について解説	講義と質疑応答 PPにより説明	技術的なセキュリティ対策が理解できる	(復習)技術的なセキュリティ対策を復習する	60	主体性
11週 /	○情報セキュリティ(2) セキュリティ対策ビデオから被害防止について考える	ビデオ観賞 講義と質疑応答 PPにより説明	セキュリティ対策から被害防止策が理解できる	(復習)情報の被害防止策を確認する	60	課題発見力
12週 /	○情報社会におけるコミュニケーション 特徴と情報サービスについて解説	講義と質疑応答 PPにより説明	ネット上のコミュニケーションの特徴が理解できる	(復習)ネット上のコミュニケーションの特徴を確認する	60	主体性
13週 /	○情報化社会の倫理問題(1) 実社会で起きているコンピュータの有害情報のデータを基に情報倫理問題を解説	講義と質疑応答 PPにより説明	コンピュータ有害情報とその倫理が理解できる	(復習)コンピュータ有害情報とその倫理を確認する	60	課題発見力
14週 /	○情報化社会の倫理問題(2) 実社会で起きているネットワーク犯罪のデータを基に情報倫理問題を解説	講義と質疑応答 PPにより説明	ネットワーク犯罪とその倫理が理解できる	(復習)ネットワーク犯罪とその倫理を確認する	60	課題発見力
15週 /	○情報モラルについて・まとめ 情報化社会で適正な活動を行うためのマナーについて解説 マナーのキャッチフレーズを考える	講義と質疑応答 PPにより説明	ネチケットについて理解する。マナーキャッチフレーズ考案できる	(復習)情報社会で生きていくために必要な知識を確認する	60	実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力